

多摩北部医療センターにおける新型コロナウイルス感染者の発生について（第3報）

公益財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センターにおける新型コロナウイルス感染者の発生について御報告いたします。

12月1日の報道発表により複数の感染を報告した一般病棟に関連して、本日、新たに2名（患者1名及び職員1名）の陽性が判明いたしました。

なお、今回の感染者発生による診療機能への影響はございません。

1 病院における陽性者の発生状況について

(1) 当該病棟に入院していた患者（患者I）に、本日の朝、発熱の症状がみられたため、PCR検査を実施したところ、「陽性」が判明した。なお、患者Iは12月1日のPCR検査結果では「陰性」であった。

(2) 当該病棟で勤務する看護師（職員2）に、12月3日の夜、発熱の症状がみられたため、本日PCR検査を実施したところ、「陽性」が判明した。なお、職員2は12月1日のPCR検査結果では「陰性」であった。

2 陽性が判明した職員の概要

職員2

年代：40代

性別：女性

職種：看護師（常勤・病棟勤務）

居住地：都内

現在の症状：発熱。自宅療養中

〈問合せ先〉

公益財団法人東京都保健医療公社多摩北部医療センター

庶務課 中田、阿部 電話 042-306-3105（直通）

公益財団法人東京都保健医療公社事務局

総務課 小俣 電話 03-5577-2133（直通）

事業推進課 沼口、永竹 電話 03-5577-2135（直通）

3 病院の対応等

- ・患者 I は現在軽症であり、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病棟に転棟し治療中である。
- ・職員 2 は、所管保健所の指導に基づき、現在、自宅療養中である。
- ・患者 I 及び職員 2 と接触のあった職員等については現在調査中であり、判明後速やかに PCR 検査を実施するなど、適切に対応していく。
- ・所管保健所に指導に基づき調査を行っているが、現時点では感染ルートは不明である。
- ・当該病棟の入院患者については、個室対応とするなど、必要な感染防止策を実施している。
- ・引き続き、職員の手指衛生やマスク着用などの標準予防策の徹底及び感染管理担当（ICT）による巡回点検を実施する。

4 今後の診療について

今回の感染判明に伴う診療機能への影響はない。

<参考>

○継続している診療機能

- ・外来診療
- ・当該病棟以外の入院診療

○制限している診療機能

- ・当該病棟の新規入院患者の受入停止し、他の病棟で受入れ

陽性者一覧

	陽性者	陽性 確認日	報道 発表日	陽性が確認されるまでの行動歴等	現在の 状態
1	患者A	11/30	12/1	・11月下旬に入院 ・発熱したためPCR検査を行ったところ陽性と判明	軽症
2	患者B	11/30	12/1	・11月上旬に当該病棟に入院 ・患者Aと同室であったため、PCR検査を行い陽性判明	軽症
3	患者C	11/30	12/1	・10月下旬に当該病棟に入院 ・患者Aと同室であったため、PCR検査を行い陽性判明	軽症
4	患者D	11/30	12/1	・11月中旬に当該病棟に入院 ・患者Aと同室であったため、PCR検査を行い陽性判明	無症状
5	患者E	12/1	12/3	・11月中旬に当該病棟に入院	無症状
6	患者F	12/3	12/3	・11月中旬に当該病棟に入院 ・発熱したためPCR検査を行ったところ陽性と判明	軽症
7	患者G	12/3	12/3	・11月中旬に当該病棟に入院 ・発熱したためPCR検査を行ったところ陽性と判明	軽症
8	患者H	12/3	12/3	・11月下旬に当該病棟に入院 ・発熱したためPCR検査を行ったところ陽性と判明	軽症
9	職員1 (看護師)	12/2	12/3	・当該病棟で看護業務に従事	無症状
10	患者I	12/4	12/4	・11月下旬に当該病棟に入院 ・発熱したためPCR検査を行ったところ陽性と判明	軽症
11	職員2 (看護師)	12/4	12/4	・当該病棟で看護業務に従事	軽症